

## 「本山寺山森林づくりの会」活動報告(2021.03.04)

文：武田、写真：倉谷、山 國

日時：2021(令和3)年 3月 4日(木) 9:30～15:00

気象：晴

活動エリア：45林班ろ・04・に・03、活動地一帯のモニタリング調査区

活動内容：45林班ろ・04・に・03の枯損木伐倒と林床整備

モニタリング調査区の整備状況確認

参加者：猪川 誠、倉谷邦雄、黒山泰弘、薦田佳一、武田壽夫、中村賢三、宮本 廣、山田真也、山 國  
会員9名

### <待望の「コロナ明け」>

昨日は桃の節句、明日は冬ごもりの虫達が動き出す「啓蟄」、そして**明後日五日は「蟄虫啓戸」、読みは「巢籠もりの虫戸をひらく」。**コロナ籠りからようやく動き出せる今の気分ピッタリ。人々の努力と工夫でこの **new normal** が定着することを願うや切。

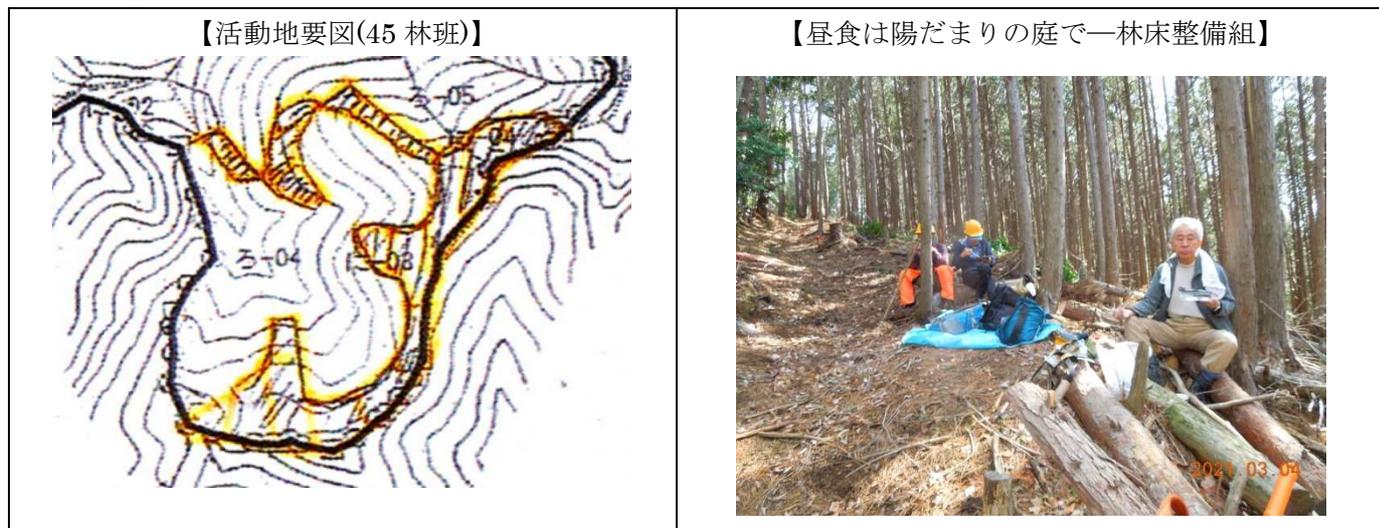
今日の作業は二組に分かれ、45林班内の林床整備や枯損木伐倒などに7名、内、チェーンソー操作者が二名と伐倒や切り放し間伐木の玉切りが進むことが期待される。残る二名は活動地に設定したモニタリング調査区の4ヶ所の現況撮影。これは、「さとり」事務局への提出資料の一部である。なお、斧田会員はJR高槻で作業打合せの後、自宅での作業。先述の現況写真同様、助成元には年度執行記録の提出が必須で、決算等々、資料のまとめで desk work へ。

### <今日の成果>

林床整備組はチェーンソーの活躍もあり **20\*50m=0.1ha** を整備、倒木は40本以上を玉切りし、土留めを構築。掛り木や処理材運搬の苦労は毎度のこと。調査区現況撮影組は44林班から45林班へと、大きく活動地を一巡。地点の確認と撮影角度に手古摺りながら、標高差300mを歩き廻る。

(写真編の後半8枚は各調査区の整備前・後を比べたもの。「進んでいる」とご覧頂けるかどうか)

### <写真編①>



<写真編②>

【伐倒方向の確認-作業道に掛かる大木】



【林床整備中】



【土留め兼路肩用に杭打ち】



【掛り木はダルマ落としての刻みを繰り返す】



【第1調査区(44林班ろ 昨年5月)】

⇒



⇒ 【第1調査区の現況】



【第2調査区(44林班は-01 昨年10月)】

⇒

⇒【第2調査区の現況】



【第3調査区(44林班に 昨年7月)】

⇒

⇒【第3調査区の現況】



【第4調査区(45林班-03 昨年5月)】

⇒

⇒【第4調査区の現況】

